

ITの訓練を通して自己理解を深め、仕事の基本スキルを身につけることで、自分に合った就労を目指す。



入校前

### 働くことに対する不安

- ・ 障害を開示せず(クローズ)就労したが続かず、次は障害者求人で就労したい。
- ・ 仕事をしていない期間があり、社会復帰することに不安がある。
- ・ 就労経験がなく、就職活動をどのように進めればいいかわからない。
- ・ 自分の障害特性で、どのように働いていけばいいかイメージできない。

障害者雇用で、まず求められることは、  
**自身の特性をきちんと理解しているか（自己理解）**です。



指導員



面接

（自分のことをよくわかっていない…）



△△が苦手ですが、〇〇はできます。  
苦手なことは、□□で対応しています。

✗ どんな人かわからない人を企業は採用できない。



自分にできること、できないことが明確であれば、企業は特性に応じて、仕事を頼むことができる。



訓練を受ける

### ITシステムサポート科の訓練 3つの方針

#### 自己理解

#### 自分を知る

訓練を通して、自身の障害特性（得意なこと、苦手なことなど）を知り、自分に合った就労を目指す。

#### 仕事基本スキル

#### 仕事の基本スキルを身につける

どのような仕事にも必要な「考える力」「協働する力」などを身に付け、仕事の基礎力を高める。

#### IT専門スキル

#### ITの専門スキルを身につける

どのような業種・職種でもITが用いられるため、ITの基本を学ぶことで、人材の価値を高める。

修了後

- ・ 自分に合った働き方で
- ・ 自分の能力を活かして

就職



## 主な訓練科目

IT関連	1. ITパスポート試験対策
・	2. 日商PC検定対策
PC関連	3. Web制作実習
	4. ネットワーク実習
	5. システム開発実習
社会生活	6. 社会生活スキル演習
就職	7. 就職対策演習



未経験でも心配ありません。  
基礎からじっくり取り組みます。



## 1. ITパスポート試験対策

訓練の目的：ITの基礎的な知識を習得する。

目標資格：ITパスポート試験

ITを活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験。



講義を聞く



繰り返し問題を解き  
知識を定着させる

問題サンプル：平成30年春期 問66

PCで電子メールの本文に記載されていたURLにアクセスしたところ、画面に図のメッセージが表示され、PCがロックされました。これは、何による攻撃か。



このPCをロックしました。ロックの解除には、パスワードが必要となります。パスワードを知りたい方は、48時間以内に振込みをしてください。お支払いいただけない場合、解除することができなくなります。お支払方法は以下のとおりです。

選択肢    ア：キーロガー                    イ：スパイウェア  
              ウ：ボット                            エ：ランサムウェア

## 2. 日商PC検定対策

訓練の目的：Officeソフトの基本操作、ビジネス文書、データ集計などの知識を身に付ける。  
・指示通り正確に作業する力を身に付ける。

Word  
Excel  
PowerPoint  
の基本操作

+

ビジネス文書など  
実務に必要な知識

目標資格：日商PC検定（文書作成・データ活用）3級  
商工会議所が主催するパソコンスキルの検定試験。パソコンの操作ができるだけでなく、パソコンを活用して仕事を進める力が求められる。

## 個別課題の進め方



①指示を受ける



②進捗をタスク  
表で管理する



③報告する

期	課題	学習ドリル進捗	完了日
第1期	企業と法務	1-1	100% 4/20(木)
		1-2	100% 5/10(水)
第2期	経営戦略	2-1	100%
		2-2	100%
		2-3	94%
第3期	システム戦略	3-1	43%
		3-2	50%

タスク表

ねらい

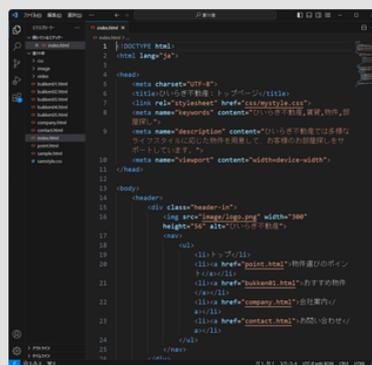
- ・能力に合わせて自分のペースで取り組む。
- ・自分でスケジュール、進捗を管理する。
- ・指示を受ける、報告、連絡、相談する習慣を身に付ける。

## 3. Web制作実習

訓練の目的：Web制作に必要なHTML・CSSの基礎知識を身に付ける。  
・指示通り正確に作業する力を身に付ける。

課題サンプル：HTML

参照：『よくわかるHTML5&CSS3ウェブサイト構築の基本と実践』富士通エフ・オー・エム



HTML・CSS



実際のWebページ

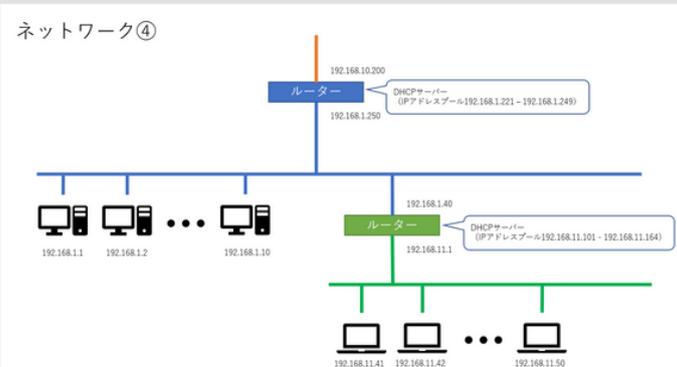
## 4. ネットワーク実習

訓練の目的：ネットワークの基礎知識を身に付ける。  
・問題を切り分ける力を身に付ける。

訓練の内容：

- ①実際の機器を用いて、構成図通りの簡易ネットワークをグループで構築する。
- ②通信トラブル発生時に、原因の見つけ方と対処法を学ぶ。

課題サンプル：ネットワーク構成図



## 5. システム開発実習

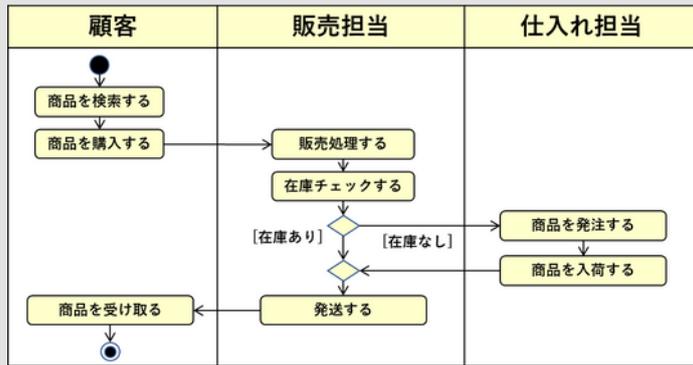
- 訓練の目的：  
 ・システム開発の一部を体験する。  
 ・**ものごとを図で整理する力**を身に付ける。
- 訓練の内容：  
 ・業務内容が書かれた文章からアクティビティ図（業務の流れを示す図）を作成する。  
 ・ソフトウェアが想定通り機能するかを検証（テスト）する。

### 課題サンプル：アクティビティ図

#### Webショッピングシステム

顧客は商品を検索し、購入すると、販売担当は販売処理をして在庫チェックをします。在庫がなければ仕入れ担当は発注、入荷をします。次に、販売担当は商品を発送し、顧客は商品を受け取ります。

↓ 文章から図を作成することで「誰が」「何を」を明確化



### グループ課題の進め方

- 3人以上が1台のPCの前に座り、意見を出し合いながら問題を解決していく。
- ねらい：  
 ・**他の人と協働して仕事を進める力を養う**  
 ・メンバー同士で**知識やノウハウを共有する**



チームで意見を出し合いながら、皆で楽しく課題をクリアしていきましょう。



指導員

## 6. 社会生活スキル演習

- 訓練の目的：  
 ・ビジネスマナーや仕事の進め方など、社会生活で必要な力を身に付ける。  
 ・**自己理解を深め、他者に伝える力**を身に付ける。

- 訓練の内容：  
 ・ビジネスマナー、仕事の進め方など社会人としてのふるまいを学ぶ。



ビジネスマナー

- ・考えを書き出す、話すことで頭の中を整理するとともに、**コミュニケーション力**を養う。



コミュニケーション

- ・マインドマップを作成することで、頭の中にあるものを見える化し、整理する。



マインドマップ

他の訓練生や指導員との対話の中で、自己理解を深めていきましょう。



指導員

## 7. 就職対策演習

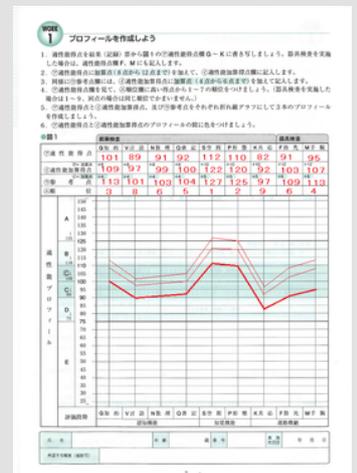
- 訓練の目的：  
 ・**自分に合った就職先**を見極める。  
 ・**自分の障害特性、配慮事項を企業に伝える力**を身に付ける。

- 訓練の内容：  
 ①自己分析  
 アセスメントツールを用いて自己分析を行う。
- ②求人検索  
 アセスメントの結果をもとに自分に合った求人を探す。
- ③応募書類作成・面接練習  
 自分の特性、配慮事項を応募書類に記載し、企業に伝える



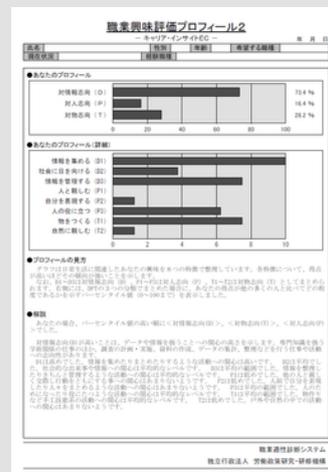
### アセスメントツール

ここでの「アセスメント」は、「評価する」という意味よりも「就労を支援するために必要なニーズや課題等を明らかにし、必要な支援や配慮を検討する」という意味で用いている。



- ①クリフトンストレングス・テスト  
 自分の中の最も特徴的な才能や強さを導き出す。

- ②一般職業適性検査（GATB）  
 言語能力、数理能力、空間判断力、指先の器用さなど9つの適性能を測定する。



- ③キャリアインサイト  
 職業選択に役立つ適性評価、適性に合致した職業リストが参照できる。



- ④就労支援のためのアセスメントシート  
 訓練生の希望、現状などを書き出し、長所や課題を整理する

自分に合う企業に就職するために、まずは自分を知ることから始めましょう。



指導員

# 想定する訓練生のイメージ

● 自己理解 ● 仕事基本スキル ● IT 専門スキル

## Aさん 32歳

### 障害名：うつ病

前職での長時間労働の結果、うつ病を発症する。症状が落ち着いてきたため、社会復帰したいと思っているが、休職期間が長く、働き始めることに不安を感じている。



↓ 訓練を通して..

- 1日6時間であれば継続して働けることがわかった。
- 得意だった整理整頓が、強みになることがわかった。
- 資格試験に合格し、自信がついた。
- ITの基本的な知識を習得した。
- Word、Excelを習得した。

↓ 就職

職種：事務補助  
パートタイム  
(1日6時間)



## Bさん 23歳

### 障害名：自閉スペクトラム症 (ASD)

今まで働いた経験がなく、就労のイメージができない。障害者求人を探そうと思っているが、自分に何が向いているのかもわからず、就職活動もどのように進めていいかわからない。



↓ 訓練を通して..

- アセスメントツールでデータ入力の適性があることがわかった。
- ビジネスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。
- コミュニケーション力が向上した。
- PCの入力作業が、素早く正確に行えるようになった。

↓ 就職

職種：データ入力  
フルタイム



## Cさん 27歳

### 障害名：注意欠如・多動症 (ADHD)

今まで障害を開示せず(クローズ)就労したが、仕事が続かず転職を繰り返している。自分自身では長く働きたいと思っているが、なぜ続かないかわからず困っている。



↓ 訓練を通して..

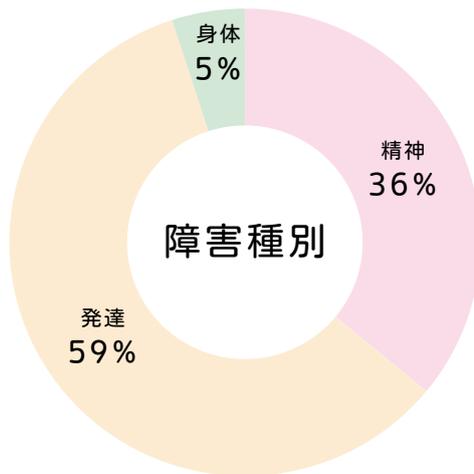
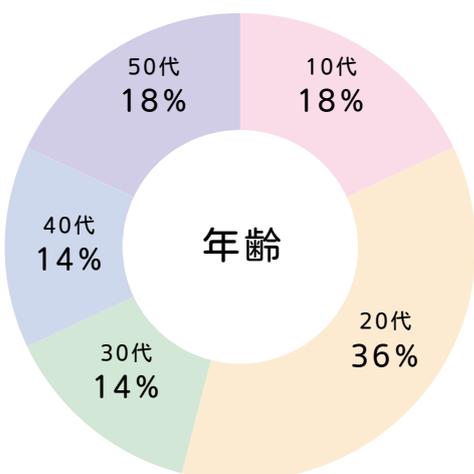
- 複数同時作業(マルチタスク)が苦手だが、一つずつの指示であれば正確に作業できることがわかった。
- 自分の特性を理解し、障害を開示(オープン)して就職活動を行った。
- ビジネスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。

↓ 就職

職種：軽作業  
フルタイム



## 訓練生の内訳 (令和3年度～令和5年度修了生)



訓練生の年代は、10代から50代まで幅広いです。障害種別は、精神障害、発達障害、身体障害と様々な人が訓練に取り組みられています。いろいろな人と同じ教室で訓練に取り組むことは、「他者への理解」「自分の理解」に繋がります。



## 就職先の内訳 (令和3年度～令和5年度修了生)

